

施設基準関連揭示

1. 医療情報取得加算
2. 医療 DX 推進体制整備加算
3. 有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
4. 院内トリアージ実施料
5. 外来腫瘍療法診療料
6. コンタクトレンズ検査料
7. 後医薬品使用体制加算
8. 一般名処方加算
9. 1年間の手術実績件数
10. 情報通信機器を用いた診療
11. がん性疼痛緩和指導管理料

医療情報取得加算について

本院では、マイナンバーカードによる保険証の確認およびオンライン資格確認を行う体制を有しています。

また、受診した際に、マイナンバーカードによる保険証の確認とともに薬剤情報や特定健診情報、その他必要な情報の取得に同意いただいた方に対して、その情報を活用し診療を行います。

医療DX推進体制整備加算について

本院では、医療DX推進の体制に関する事項及び質の高い診療を実施するための十分な情報を取得・活用して診療を実施しています。

- 医師等が診療を実施する診察室等において、
オンライン資格確認等システムにより取得した
診療情報等を活用して診療を実施しています。
- マイナ保険証を促進する等、医療DXを通じて
質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。
- 電子処方箋の発行体制を有しています。また、
電子カルテ情報共有サービスなどの医療DXに
かかる取組を予定しています。

歯科診療に係る医療安全管理対策及び院内感染対策、有床義歯の修理体制について

本院では、歯科診療の特性を踏まえ、より安全で安心できる歯科外来環境の整備を図る取り組みを実施しております。

歯科診療に係る医療安全対策及び院内感染防止対策等を実施するとともに、緊急時には本院救急部との連携により、治療を行っております。また、自動体外式除細動器（AED）を保有し、院内の各所に設置しております。

有床義歯の修理を迅速に行う体制も整備されておりますので、主治医にご相談ください。

院内トリアージの実施について

本院は、時間外の外来において、院内トリアージを実施しております。

院内トリアージとは、診察前に医師又は看護師が症状をうかがい、**患者さんの緊急度を判断し、より早期に診察を要する患者さんから優先して診療する方法**です。救急搬送された場合はこの限りではありません。

診察は受付順にはなりませんので、待ち時間が長くなる場合がありますが、ご了承ください。

外来腫瘍化学療法診療料について

当院では、外来患者さんに安心して抗がん薬治療を受けていただくために、以下の体制を整備しています。

- 当該診療料に関わる専任の医師、看護師又は薬剤師を院内に常時 1 人以上配置しています。
- 外来で抗がん薬治療を受けている患者さんからの電話等による緊急の相談等に 24 時間対応できる体制を整備しています。
- 急変時等の緊急時に抗がん薬治療を受けている患者さんが入院できる体制を確保しています。
- 治療に使用する化学療法のレジメン（治療内容）は、レジメン管理委員会にて妥当性を評価し、承認を行っています。
- 抗がん薬治療について、知りたいことや困っていることなどがありましたら、医師・看護師・薬剤師までご相談ください。

以上

京都大学医学部附属病院

コンタクトレンズ診療費に関するお知らせ

京大病院眼科では特殊な事情をお持ちの方を除いて、一般のコンタクトレンズ処方は行っておりません。

また、特殊な事情をお持ちでコンタクトレンズ処方を行う際には下記の通りの保険診療が適応されます。

1) 初診料及び再診料

初診料：291点 再診料：75点

*当院で過去に【コンタクトレンズ検査料】が算定されている場合には、再診料となります。

2) コンタクトレンズ検査料1

検査料の点数：200点

(厚生労働省が定める疾病等によっては、上記のコンタクトレンズ検査料ではなく、眼科学的検査料で算定する場合があります。)

*上記につき、ご不明な点は職員までお尋ねください。

コンタクトレンズの診療を行う医師の氏名

氏名	診療経験年数
辻川 明孝	32年
三宅 正裕	15年
村上 智昭	23年
宮田 学	23年
村岡 勇貴	19年
上田 奈央子	21年

令和8年3月現在

後発医薬品・バイオ後続品の使用推進について

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）及びバイオ後続品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。現在、一部の医薬品について十分な供給が難しい状況が続いています。

- 当院では、医薬品の供給不足等が発生した場合に、医薬品の処方等の変更、治療計画等の見直し等、適切な対応ができる体制を整備しております。
- 医薬品の供給状況によっては、患者さんへ投与する薬剤が変更となる可能性があります。
- 投与する薬剤を変更する場合は、その旨を十分にご説明しますが、ご不明な点やご心配なことなどがありましたら医師、看護師、薬剤師までご相談ください。

ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

以上

京都大学医学部附属病院

一般名処方の推進について

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。現在、一部の医薬品について十分な供給が難しい状況が続いています。

- 当院では、特定の医薬品銘柄（商品名）を指定するのではなく、**薬剤の有効成分を処方せんに記載する「一般名処方」**を推進しています。
- 一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者さんに必要な医薬品が提供しやすくなります。
- 一般名処方について、ご不明な点などがありましたら医師・薬剤師までご相談ください。

ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

以上

京都大学医学部附属病院

手術実績について

医科点数表通則に掲げられている手術の年間実績は次のとおりです。

	手術名	手術件数
区分1に 分類される手術	頭蓋内腫瘍摘出術等	197
	黄斑下手術等	656
	鼓室形成手術等	77
	肺悪性腫瘍手術等	296
	経皮的カテーテル心筋焼灼術、肺静脈隔離術	375
区分2に 分類される手術	靭帯断裂形成手術等	49
	水頭症手術等	124
	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	4
	尿道形成手術等	8
	角膜移植術	0
	肝切除術等	194
	子宮附属器悪性腫瘍手術等	44
区分3に 分類される手術	上顎骨形成術等	73
	上顎骨悪性腫瘍手術等	39
	パセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	9
	母指化手術等	19
	内反足手術等	0
	食道切除再建術等	6
	同種死体腎移植術等	29
区分4に 分類される手術	胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術	1513
その他の区分に 分類される手術	人工関節置換術	291
	乳児外科施設基準対象手術	5
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	135
	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む）及び体外循環を要する手術	256
	経皮的冠動脈形成術	31
	（急性心筋梗塞に対するもの	（4）
	不安定狭心症に対するもの	（4）
	その他のもの	（23）
	経皮的冠動脈粥腫切除術	0
	経皮的冠動脈ステント留置術	264
	（急性心筋梗塞に対するもの	（55）
不安定狭心症に対するもの	（33）	
その他のもの	（176）	

集計期間：令和7年1月～令和7年12月

情報通信機器を用いた診療について

本院では、「オンライン診療の適切な実施に関わる指針」を遵守し、オンライン診療を実施しております。

ただし、初診からオンライン診療を受ける場合、以下の処方については行うことができません。

- ・ 麻薬及び向精神薬の処方
- ・ 基礎疾患等の情報が把握できていない患者さんに対する、特に安全管理が必要な薬品（診療報酬における薬剤管理指導料1の対象になる薬剤）の処方
- ・ 基礎疾患等の情報が把握できていない患者さんに対する8日以上の処方

がん性疼痛緩和指導管理料の注2について

本院では、がん性疼痛の症状緩和を目的として放射線治療及び神経ブロックをがん患者に提供できる体制を整えております。